

宮の空



宮小 学校便り

令和6年3月1日 第11号

佐世保市立宮小学校

校長 藤田 律子

学校教育目標 「ふれあいの中で よりよく生き抜く児童の育成」～豊かなかかわりと 豊かな学びを通じて～

ふるさと「宮」の良さを受け継いで

2月6日(火)宮小学校創立150周年記念式典、8日(木)記念植樹、10日(土)祝賀会と、150周年に関わる行事を終えました。これらの行事は地域の皆様、保護者の皆様のご協力で実現できました。ありがとうございました。

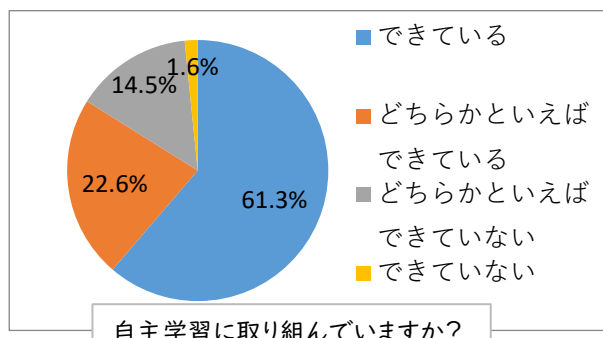
式典で私は、宮の良さについて話しました。1つ目の良さは、「**未来を見据えて考え、主体的に行動すること**」です。明治の初めにいち早く学校を創ったことをはじめとして、宮には、社会の動きに先んじて行動し、問題を解決してきた歴史があります。2つ目の良さは「**人と人がつながり力を合わせる**こと」です。宮ふれあい祭り、放課後子ども教室、人文字撮影…。誰かが「やろうで!」と声を上げれば仲間が集まり力を合わせる宮の風土を本当に素晴らしいと思います。子ども達には、この2つの良さをしっかりと受け継いで、これからの予測困難な未来社会を、仲間ともに、主体的に生き抜いて欲しいと話しました。



記念植樹

義務教育学校化を見越して、宮中学校の敷地内に桜の植樹させていただきました。

自分の力を伸ばすために どんな勉強をすればいいかを自分で考える!



本校では「主体的な学び」をめざして、家庭学習を、先生から出される宿題から、自分で内容を考えて取り組む自主学習へと変えています。この切り替えは、学年に応じて徐々に進んでいて、1月のアンケートでは、8割以上の子どもが自主学習ができていると答えました。

以前、全校朝会で子ども達に、フィンランドの話をしました。「フィンランドの子ども達は、日本よりもかなり早く

帰宅します。しかも宿題はないので、自分で自由にやりたい勉強に取り組めます。それなのに学力が高いのはなぜでしょう?」と子ども達に問いかけたところ、子ども達は、「主体性!」と応えてくれました。その通り。やらされる勉強にイヤイヤ取り組んでも学力は伸びません。学力向上のカギは自ら学ぶこと。さらに、「**自分がどこが分かっている、どこが分かっているかを振り返り(メタ認知)、力を伸ばすためにどんな勉強をすればいいか、自分で考えること**」が、成長するために非常に大切だということが分かってきました。だから、自主学習はとても効果的なのです。

そこで、3月4日(月)～3月15日(金)、学期末短縮授業日等でいつもより早く帰宅する2週間を利用して、「**自主学習 仕上げウィーク**」を実施します。

取り組むのは2年生～6年生。1年間の学習を振り返り、自分で内容を決めて取り組みます。1週間経過したところで「振り返り」の時間を設け、取組状況を確認し、必要に応じて担任から助言指導を

行います。1週目の状況によっては、2週目は個別に宿題をもらう子もいるかもしれません。ちょうど、本日、12月に実施した学力テストの結果を配付しました。親子でご覧になり、自主学習ウィークにどんな勉強をすればよいか、一緒に考えてみてください。

3月行事予定

1日(金) 全校朝会 SC来校
国際理解指導員ドナー先生来校
4日(月)～14日(木) 学期末短縮授業日
4日(月) 国際理解指導員ドナー先生来校
6日(水) PTA評議員会
11日(月) 国際理解指導員ドナー先生来校
13日(水) 卒業式総練習
15日(金) 卒業式会場設営

17日(日) 家庭の日
18日(月) 卒業証書授与式
19日(火) 食育の日、徳育の日
20日(水) 春分の日
22日(金) 修了式 離任式

令和6年度4月の主な予定

8日(月) 着任式 1学期始業式
10日(水) 入学式

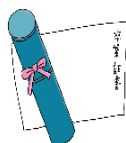
防犯教室…防犯ブザーはちゃんと鳴りますか？

2月27日(火)に宮地区自治協議会から3年生に防犯ブザーの贈呈がありました。併せて、防犯教室を実施し、早岐警察署スクールサポーターの方から、不審者への対応について教えていただきました。声掛け事案も発生しているとのこと。『イカのおすし』で安全に！



防犯ブザーの取り換え用にと、かなりたくさんの予備もいただきました。防犯ブザーが鳴らなくなっていたら、新しい物を渡しますので、この機会にぜひ点検をしてください。

儀式を通して学ぶこと



来週から、卒業式の練習が始まります。残念ながら、多くの子どもは卒業式の練習が嫌いです。動きたいエネルギーでいっぱいの子どものにとって、長時間じっと座っていることは苦痛でしょう。低学年の子どもにはキツイだろうなあ…と、今から少し気が重いです。

それでもやはり、卒業式などの儀式は大切だと思います。小学校には、始業式や終業式、修了式などたくさんの儀式がありますが、それらは、節目節目に気持ちを落ち着け、心と身体の成長を態度で表現するものです。ですから、先生達は子ども達に、式の時は、胸を張り立派な姿勢で参加するように指導します。そして卒業式は、6年生が、家族や地域の方々などこれまで自分を支えてくれた人達に、感謝を込めて、「皆さんのおかげで、私はこんなに立派に成長しました！」という姿を見せるための式です。ですから、歩き方、座り方、お辞儀の仕方、証書のもらい方等など、1つ1つの所作をしつかりと指導します。

一時期、成人式で若者達が祝辞などの話を静かに聞けずに騒いでニュースになることがありました。最近ではそれを見越して、成人式を儀式ではなく楽しいイベントにしている市町が多いとか。「感謝の気持ちはないのかな…」と情けなく思うのは、私が古い人間だからでしょうか。

宮小学校の子ども達には、自分の成長に誇りを持ち、顔を上げ、胸を張って、立派な態度で儀式に参加できる人に成長して欲しいです。卒業式の練習を前に、どう話せば、子ども達に、儀式の大切さを教えることができるかと、頭を悩ませています。

